

PRESS RELEASE

※配信会社から提供された企業や団体等のプレスリリースを原文のまま掲載しており、朝日新聞社が取材・執筆した記事ではありません。お問い合わせは、各情報配信元をお願いいたします。

マルチプレイヤーのヒカルド・バセラルー 日本人シンガーを迎えブラジル音楽を讃えるコンサート開催

配信元：PRTIMES 2024.07.13

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・ブレイスで2夜連続公演を行った。



ヒカルド・バセラルー



村田匠、ヒカルド・バセラルー、マルキーニョス・ラモス



ヒカルド・バセラルー、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・ブレイスで2夜連続公演を行った。1日目と2日目で異なるパフォーマンスを披露。バセラルーは7月中旬まで日本ツアーを開催中で、13日は福岡、18日は鎌倉（神奈川県）での公演が予定されており、20日は再び東京でライブを行う。

ブルーノート・ブレイスのステージでは、2日目の夜にインストゥルメンタル曲の「Fogueira」が演奏されたことが大きなサプライズとなった。同曲は、チェリストのジャキス・モレレンバウム(Jaques Morelenbaum)と共同制作したアルバムに収録される予定だ。

フォホーのリズムに、バセラルーならではの特色を持つ楽曲で、ステージではマルキーニョス・ラモス(Marquinhos Ramos)と村田匠が出演しバンデイロを演奏した。

今回のツアーに同行しているバセラルーの妻マノエラは、「ブラジル北東部にルーツを持つこの音楽を聞けば体が勝手に動き出してしまおう」と語った。

同じくインストゥルメンタル曲で、ブルーノートでの公演のために特別のアレンジで演奏された「Vila dos Passaros」も話題となった。世界が過酷な状況下にあったコロナ禍の最中に書かれたというこの作品の曲調には、聞く人を鼓舞し前向きな気持ちにさせる力がある。

歌手のマリアンジェラ(Mariangela)は、「Upa, Neginho」でバセラルーと共演。この公演には歌手の山田タマルも出演し、バセラルーとともに「O Barquinho」を披露した。この曲は、バセラルーに説得されたボサノヴァの巨匠ロベルト・メネスカル(Roberto Menescal)が歌ったバージョンが先日再リリースされている。

また、バセラルーは日本へのオマージュとして、海外では「スキヤキ」の題名で知られる「上を向いて歩こう」をレパートリーに加え、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠とともに演奏した。

コンサートを鑑賞し日本人によるボサノヴァの演奏を楽しんだというセアラジャパンのチアゴ・マルソン・フォンセカ代表は、「ブラジルの優れた音楽が、二つの文化の間を流れるように見事に演奏されるのを聴くことは、我々ブラジル人にとって素晴らしい経験となった」と述べた。

ブラジル音楽に関する書籍「ブラジル・インストゥルメンタル・ミュージック・ディスク・ガイド」の著者であるウィリー・ウーバー氏は、「5年半振りに来日したヒカルド・バセラルー。ブルーノート・ブレイスでは30分強の2セットという短めのステージだったが、ミルトンやエドゥ、ジル、ジョルジ・ベン、ベルキオールといったMPBスタンダード曲から、メネスカルのボサノヴァ曲、そしてオリジナルのフォホーまで、ブラジル色満載の内容となった。初顔合わせのゲスト・シンガー達とも上手く調和できたのはバセラルーのセンスの良さだろう。次の機会はじっくりと聴いてみたい」と語った。

第1夜は中原仁、第2夜は桜井芳次郎がミュージックセレクター（DJ）を務めた。

コンサートの制作はトゥビニキーム・エンターテインメントが担当した。

●7月13日（土）福岡

TIEMPO HALL

<https://tiempohall.tiempo.jp>

※詳細・チケット情報→<https://x.gd/PC2j4>

●7月18日（木）鎌倉

JAZZ CLUB DAPHNE

<https://www.jazz-daphne.jp>

※詳細・チケット情報→<http://ptix.at/850K2v>

●7月20日（土）東京

第17回ブラジルフェスティバル（代々木公園イベント広場）

<https://festivalbrasil.jp/ja/>

※入場無料 Free Live

Homepage shows: <http://www.tupiniquim.net/>

Youtube: https://www.youtube.com/@ricardo_bacelar

Instagram @ricardo_bacelar

Jasmin Music: <https://jasminmus.com/>

[企業プレスリリース詳細へ](#)

[PRTIMESトップへ](#)

FOR YOU

あなたにおすすめの記事



キャンピングカーで行こう！

ペット連れに人気のレクビー・ソランから「SL」デビュー！ ついにハイエース全車型



瀬辺早織の思い出よびり、つまみぐい。

小さなヴェネツィア ランリア×メインサラーター・ディ・リーゾ 変わらない風景



INTERESTS 2024.08.28



INTERESTS 2024.08.12

POPULAR

人気記事

アクセス

LIKE

コメント



No.1

キャンピングカーで行こう！
ペット連れに人気のレクビー・ソランから「SL」デビュー！ ついにハイエース

♡

□

1

&M



No.2

小川フミオのモーターカー
スクーターから見るベトナムカルチャー 人間中心な交通マナー